

桜のある水辺風景2015



応募写真集



日本河川・流域再生ネットワーク

はじめに



今年も沢山の桜の写真をお送りいただきました。ありがとうございます。

皆さんからの桜の写真を見ていると自然に音楽が流れているように感じます。桜の花は音のない世界ではなく、優雅な音との結びつきがあるのではないのでしょうか。箏曲に「さくら」という曲があります。桜の花から音楽を感じるのは古来から、日本人の共通の魂かもしれません。箏曲の「さくら」は日本古謡といわれていますが、起源は幕末のころの江戸で、琴を習い始めた初心者の手ほどき曲として作られたということです。作曲者は伝わっていませんが、現在では琴の二大流派である生田流と山田流の両方ともこの桜という曲を入門曲にしています。「さくら さくら やよいのそらは・・・」というのがその曲です。歌詞は時代によっていくつかの異なったバリエーションがあり、皆さんが歌った歌詞を比べてみるのも時代が分かって面白そうです。

童謡のさくらとして私たちが習った曲は、明治21年現在の東京芸術大学の前身であった東京音楽学校の音楽取調掛が「箏曲集」を編集した際に編詞・編曲したものだそうです。童謡や唱歌にさくらの花が歌いこまれた曲には「さくらさくら」、「ちょうちょ」、「思い出してごらん」、「ドキドキドン！1年生」、「花のお国の汽車ぽっぽ」、「春の歌」、「花」などがあり、今でも新しい曲にさくらをテーマにした曲が作曲されており、一説では200曲以上にもなるそうです。

何と言ってもこの「さくら」という曲を世界的に有名にしたのは、宮城道雄の作曲による「さくら変奏曲」という合奏曲です。盲目の箏曲家であった宮城道雄は、大正12年「さくらさくら」を原曲に8つの変奏曲として編曲しました。西洋の音楽にも造詣の深かった宮城道雄は、音域の異なるお箏の三重奏曲に仕立て上げました。低音部を受け持つ十七弦琴を自ら考案し、西洋音楽の変奏形式を取り入れ、高度で様々な演奏技法を編み出したのです。そのため「さくら変奏曲」は海外でも評判となり、お正月に流れる宮城道雄の「春の海」と共に、日本を代表する名曲として洋の東西を問わず世界の人々に愛され続けているのです。

ところで客を装って店が賑わっているように見せかける役割を「サクラ」といいますが、この語源は何でしょう。定説は無いようですが演劇・芝居などの内通者をタダで入場させることから、タダで見られるさくらと掛けて「サクラ」となったとする説や、「さくらが咲くと人が集まる」、「さくらのようにパッと現われてパッと消える」など、やはりさくらの花の咲く様子、散る様子の様子が語源になったのでしょうか。

何れにしてもさくらは、“見て良し”、“聴いて良し”、“食べて良し”、“面白くも良し”ですね。

土屋 信行

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 代表理事

企画趣旨

JRRN では、水辺の美しさや人々との関わりについて考えるきっかけづくりを目指して、2015年に撮影された「桜のある水辺写真」を皆様より募集し、17名の方々より51点の素敵なお写真をご応募頂きました。

- テーマ： 「桜のある水辺風景 2015」
- 作品規定：
 - ・2015年に撮影された写真に限定します。
 - ・写真サイズはハガキサイズ程度の印刷でも鮮明なレベルとし、デジタル画像サイズは3MB以内とします。
 - ・個人が特定できる画像が含まれる場合は被写体の方の了承を得てください。
- 応募期間： 平成27年2月24日～平成27年5月31日

本冊子では、ご応募頂きました皆様のお写真を、桜前線とともに南（熊本）から北（北海道）の水辺の順に、頂きましたコメントと共にご紹介させていただきます。また、今年はJRRN会員皆様へのアンケートにより、応募作品から優秀賞1点、佳作3点を選考させていただきました。

応募作品

諏訪神社の桜の下から眺める埼津教会

<異文化の宗教をひっそりと守り続け西洋と日本の文化を融合させた集落>

天草の各集落は仏教徒を装い250年以上の間、キリスト教を守ってきましたが、「天草崩れ」(1805年)では5000人の隠れキリシタンが発覚し、埼津集落では住民の70%がキリシタンであったそうです。

現在の埼津天主堂はゴシック様式により昭和9年(1934)に造られました。ハルブ神父の強い希望で、踏絵の場所であった吉田庄屋役宅跡に教会の場所を選びました。静かな湾に面した埼津集落は国選定の重要文化的景観「天草市埼津・今富の文化的景観」の地でもあります。



投稿◎岡村幸二 2015年3月 熊本県天草市河浦町埼津



投稿◎岡村幸二 2015年3月 熊本県天草市河浦町埼津



撮影◎荒木和幸 2015年3月 熊本県八代市遙拝・球磨川

春の球磨川1 八代市遙拝

球磨川の自然・文化のすばらしさを撮りためています。
この写真は球磨川下流では一番の桜スポットだと思います。

春の球磨川2 桜の中を走るSL

球磨川の自然・文化のすばらしさを撮りためています。
この写真は球磨川に咲く桜の中を走るSLを撮影しました



撮影◎荒木和幸 2015年3月 熊本県八代市坂本・球磨川

春の球磨川3 球磨川桜街道

球磨川の自然・文化のすばらしさを撮りためています。
球磨川と国道219号線が平行して走る球磨村。ラフティングや球泉洞など観光スポットも沢山ありますが、この季節、まさに桜街道となりゆっくり川と桜が楽しめます。



撮影◎荒木和幸 2015年3月 熊本県球磨郡球磨村・球磨川

春の球磨川4 人吉城下から見る球磨川と桜

球磨川の自然・文化のすばらしさを撮りためています。
日本文化遺産に今年、指定された人吉・球磨地方。その核とも言える人吉城下の桜はまた格別。市民の憩いの場として親しまれています。



撮影◎荒木和幸 2015年3月 熊本県人吉市・球磨川



撮影◎荒木和幸 2015年3月 熊本県水上村・球磨川

春の球磨川5 市房ダム

球磨川の自然・文化のすばらしさを撮りためています。

市房ダムの桜は日本桜100景にも選ばれています。球磨川の源流域であり、自然豊かな地域であり癒されます。

花月川沿いの古道日田往還を彩る桜並木

花月川は、平成24年7月の九州北部豪雨で、3日と14日と連続して氾濫し浸水被害が発生しました。その後、河川激甚災害対策特別緊急事業が採択され、築堤や掘削などの河川改修事業が現在も実施中です。

地藏元橋と岡本橋の間の右岸側に位置する写真の箇所は、左岸側を大きく河道拡幅し右岸側の既存の桜並木を保全し護岸を前出し施工しています。



撮影◎渡部秀之 2015年4月 大分県日田市・筑後川支川花月川

優秀賞

草場川の桜並木と川を覗き込む老夫婦

川の両岸3 km以上に亘って桜並木が続きます。以前から筑前町の観光案内地図でその存在を知っていましたが、今年初めて訪れることができました。

足下が危ない場所で、老夫婦が仲睦まじく川の中を覗き込んでいる光景が、偶然目に止まりました。



撮影©渡部秀之 2015年4月 福岡県朝倉市・筑後川支川宝満川支川草場川

佳作

筑前の小京都と言われる城下町秋月を流れる野鳥川の桜

筑前の小京都と言われる城下町秋月を流れる野鳥川、その川に架かる目鏡橋の下流の写真です。目鏡橋は1810年に架けられ、県指定有形文化財に指定されています。



撮影©渡部秀之 2015年4月 福岡県朝倉市・筑後川支川小石原川支川野鳥川

景観を選びますか？

久留米市の百年公園裏の高良川に沿った遊歩道の桜並木です。

この辺りは高良川を中心とした親水公園として整備されています。左岸には百年公園、右岸には魚類の展示施設であるくめウスや商業施設があり、久留米市民の憩いの空間の一つです。その中心となる高良川は流れが細くて、左岸は草が茂っています。しかしこの枯れた草むらの中にも生き物がいます。昨年2月にこの場所で「ヒクイナ」を、またこのちょっと上流で「クイナ」を見ました。彼等が生息する場所を残してくれているようです。できるだけほったらかしにしてほしい。私たちがゴミを捨てないことはもちろんのことですが、整備により見た目をきれいにすることは本当にいいことなのでしょうか？<ありのままに～>をテーマとしたアニメがありました。人間の想いで手を加えるのは必要最小限にしてほしいと思います。また工事をする場合には、規模と業態に寄らずすべて簡易的な環境評価をすべきですが、実施されているのでしょうか？



撮影◎別府正俊 2015年3月 福岡県久留米市合川町・高良川下流

場所は変わりますが、現在筑後市にある九州芸文館付近の水路が整備中です。その水路に沿った遊歩道は、多くの筑後市民が散歩や運動に利用しており、昨年3月には「コウノトリ」が飛来し、三か月も居てくれました。この公園はスケールも大きく、すばらしい憩いの場所になると期待しています。水路と矢部川の間には複数の池が工事中で、わずかにJRの高架付近のみ工事が着手されていません。この残された葦原に3月15日の日本野鳥の会筑後支部の探鳥会で、「クイナ」が観察されました。「ありのまま」の部分を残して欲しいと切望します。またこの水路の下流に体育館がありますが、その付近の親水公園では、数年前の工事の後でも葦原を残して戴いており、野鳥たちの棲家となっていることを付け加えます。

それぞれの楽しみ方

斐伊川堤防、願い橋（沈下橋）、水辺のカヌー、いろんな角度から桜を楽しむことができる素敵な時間が流れていました。



撮影 2015年4月 島根県雲南市・斐伊川

山中溪の桜 2015年

山中溪にゲンジボタルの再生・復元活動をお手伝いし始めて7年、毎年3月の終りごろから大阪の名所として名高い。

地元の自治会やまちづくり団体が協働して川掃除や桜の樹の維持管理に励んでおられます。そのおかげで毎年綺麗な桜を見ることができます。

桜見物の期間は季節の変わり目で雨模様が多く、たまたまお天気の良い日に出かけて撮影しました。

家内と2人だけで外出するのは久しぶりのことでした。

楽しいひと時を過ごすことができ、幸せいっぱいでした。

感謝して、大きな思い出となるでしょう！



撮影◎松野隆一 2015年4月 大阪府阪南市山中溪・山中川



撮影◎松野隆一 2015年4月 大阪府阪南市山中溪・山中川

山中溪の桜 2015年



撮影◎松野隆一 2015年4月 大阪府阪南市山中溪・山中川



撮影◎松野隆一 2015年4月 大阪府阪南市山中溪・山中川

佳作



撮影◎松野隆一 2015年4月 大阪府阪南市山中溪・山中川



佳作

下北山村の桜

奈良県の最南端。紀伊半島にあって、奈良県では桜が一番に咲きます。
今年、菜種梅雨。
雨に煙り、水面に映る桜はとても綺麗でした！

撮影◎中川智子 2015年4月 奈良県吉野郡下北山村



撮影◎中川智子 2015年4月 奈良県吉野郡下北山村

飛驒の里桜

飛驒の里に桜の季節が到来。遠くにまだ冬の装いの北アルプスが見えました。



撮影◎滝宏志 2015年4月 岐阜県高山市飛驒一之宮・神通川水系宮川



堀川の花見船

雨のペールをまとった満開の桜。花見船がエンジン音を残して通過していきました。

撮影©滝宏志 2015年4月 愛知県名古屋市熱田区・庄内川水系堀川

さくらと船と物思い

川だからこそ桜を船から眺めたい。



撮影©土屋信行 2015年4月 愛知県岡崎市菅生町・乙川



木曾駒高原の春

5月連休前の高原の休日。雪解けを待ちわびたサクラとコブシが一斉に開花しました。

撮影©滝宏志 2015年4月 長野県木曾町日義・木曾川支川

今年は桜の追っかけでした。

3月末に名古屋城堀端で咲き始めの桜（写真①）に、次に、東京外堀（飯田橋）で満開の桜（写真②）に出会いました。そして4月末、出張の通りがかりに猿ヶ石川（岩手県遠野市）で1ヶ月ぶりにまた桜（写真③）に出会って撮りました。



撮影◎佐合純造 2015年3月 愛知県名古屋市・名古屋城堀端



撮影◎佐合純造 2015年3月 東京都飯田橋・東京外堀



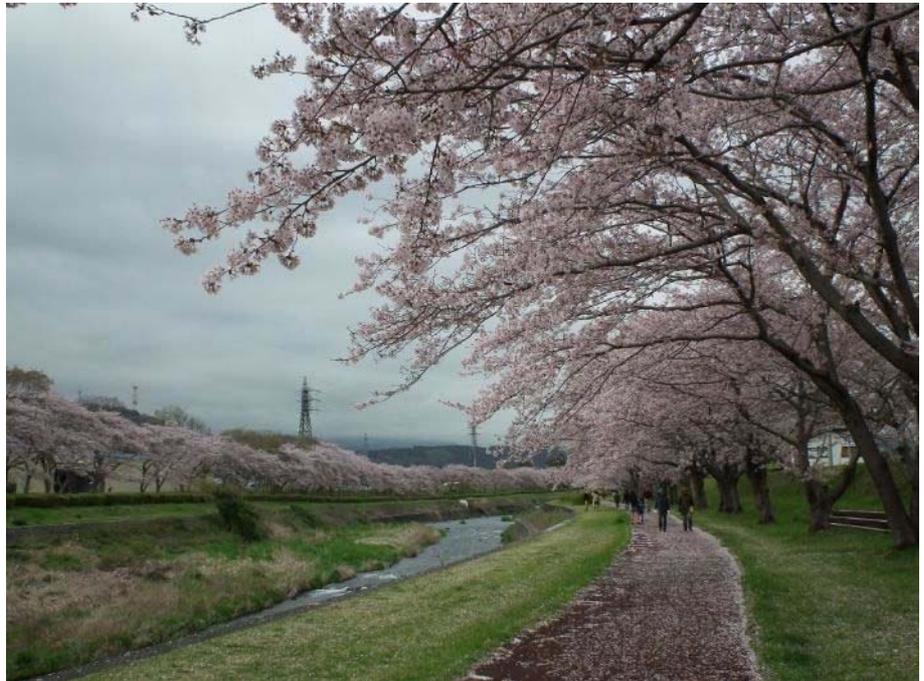
撮影◎佐合純造 2015年4月 岩手県遠野市・猿ヶ石川

潤井川中流域（富士宮）の桜並木

富士山は姿を隠していましたが晴れば絶好の眺望が得られます。曇りにもかかわらず、川と桜を楽しむ人々の姿が印象的でした。川の水も透明で落ち着きのある空間です。



撮影◎加藤晴敏 2015年4月 富士宮市淀師・潤井川



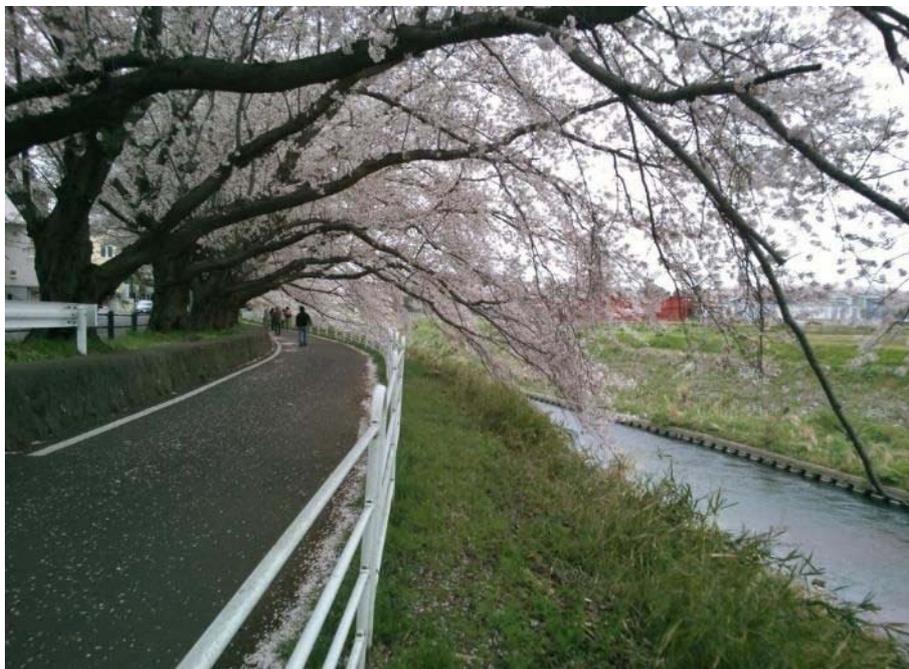
撮影◎加藤晴敏 2015年4月 富士宮市淀師・潤井川



撮影◎加藤晴敏 2015年4月 富士宮市淀師・潤井川

桜のトンネル

横浜市と藤沢市の境を流れる「境川」には、サイクリングロードが整備され、天気の良い休日には、サイクリング、散策、ジョギングする人でにぎわいます。桜並木のあるこの区間はまるで桜のトンネル。雰囲気がいだけに、水面が近かったらもっと素敵な水辺の風景になりそうです。



撮影◎高橋達也 2015年4月 神奈川県藤沢市・境川

がんばれー！がんばれー！

桜の花の下でドラゴンボートレースをしていました。
皆さん汗をかきながら真剣に漕いでいました。



撮影◎土屋信行 2015年4月 東京都江戸川区小松川・旧中川



撮影◎土屋信行 2015年4月 東京都江戸川区小松川・旧中川

華麗な静寂

堀端の桜が水面に大きく伸びて絢爛豪華な世界を作っている中で、静寂に包まれてひとときの至福に浸っているようだ。

桜見物で周りの緑道は溢れんばかりの人の群れが蠢いているというのに！



撮影◎土井一三 2015年4月 東京都千代田区・千鳥ヶ淵



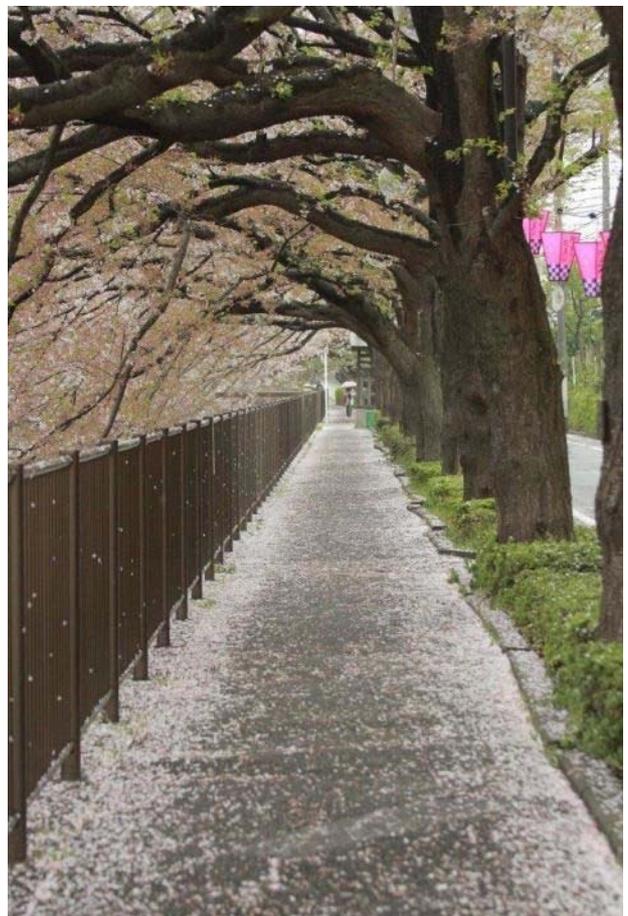
撮影◎土井一三 2015年4月 東京都新宿区・新宿御苑

蹲る二人

水面に映り込む桜の景色に見とれて蹲る二人の老婆が印象的であった。

桜の絨毯とトンネル

遊歩道から川面に大きく伸びた桜の枝が鮮やかなトンネルをつくり、見物客を堪能させた春爛漫も、雨と風で散り、桜の絨毯となって、また、格別の雰囲気醸し出す。



撮影◎土井一三 2015年4月 東京都稲城市・三沢川

目黒川 川面も陸も 大賑わい

目黒川の満開の桜はやはり圧巻。川沿いの遊歩道も少しずつ整備が進み、都会の貴重な癒し空間となりつつあります。水質を何とかできれば、もっと人が集う水辺になるのに・・・



撮影◎和田彰 2015年3月 東京都品川区・目黒川下流部



撮影◎和田彰 2015年3月 東京都品川区・目黒川下流部



撮影◎和田彰 2015年3月 東京都品川区・目黒川下流部

花のトンネル

さくらの花の醍醐味を満喫できる場所です。川のそばだからこそ実現したトンネルです。川に桜が似合うのはこのような風景があるからです。



撮影◎土屋信行 2015年4月 東京都品川区北品川・目黒川

ひとときの優雅、花筏（はないかだ）

花筏の中を気持ちよさそうに船が行きます。桜の花の命はみじかく花いかだはさらに一瞬の豪華さを演出します。さくらの貴重さはこの散り際の優雅さにある。



撮影◎土屋信行 2015年4月 東京都品川区北品川・目黒川

ひとときの優雅、花筏（はないかだ）



撮影◎土屋信行 2015年4月 東京都品川区北品川・目黒川



撮影◎土屋信行 2015年4月 東京都品川区北品川・目黒川



撮影◎土屋信行 2015年4月 東京都品川区北品川・目黒川



撮影◎土屋信行 2015年4月 東京都品川区北品川・目黒川



撮影◎土屋信行 2015年4月 東京都品川区北品川・目黒川

舟遊池に憩う

大宮公園には、沢山の桜が植えられており、桜の開花シーズンともなれば、大勢のお花見客でにぎわいます。武蔵国一の宮「氷川神社」に隣接していることもあり、参拝にいらした方々もその見事な桜を一目見ようと足を運んできます。樹齢100年を超える赤松の林に交じって約1000本の桜が植えられおり、それはそれは見事です。桜の下ではお花見客が、赤松の木の上ではおこぼれを狙っているハシブトガラスたちがにぎやかです（ごみはきちんと持ち帰りましょうね）。



撮影◎上原 励 2015年4月 埼玉県さいたま市・埼玉県大宮公園舟遊池

写真の桜は、そんな喧騒から少しはなれた、公園奥の「舟遊池」（通称ボート池）の池畔の桜です。人ごみを避けてのんびりと散策しながらのお花見ができます。

百万本の桜



撮影◎木村 彩絵 2015年4月 宮城県石巻市・追波川河川運動公園

花見のじいちゃんとわんこ



撮影◎木村彩絵 2015年4月 宮城県石巻市・中里川

ひより山の桜



撮影◎木村彩絵 2015年4月 宮城県石巻市日和山・旧北上川河口部

丘のまち美瑛の桜

丘のまち美瑛にも、こんなに綺麗な桜があり、パシャリと写真を撮りました。



撮影◎前田信広 2015年5月 北海道上川郡美瑛町・聖台ダム



撮影◎前田信広 2015年5月 北海道上川郡美瑛町・聖台ダム

おわりに

2010年からスタートした本企画も今年で6年目を迎え、たくさんの方々より素敵なお写真をご応募頂き、誠にありがとうございました。2015年の桜の開花は、全国的に例年より早く、特に北海道では10日程早かったようです。関東では、お花見の時期の週末の天気は恵まれず肌寒い日が続いていたため、皆様からのご応募も少なくなるのではと心配しておりましたが、全国33地域、51点の素敵なお写真のご応募をいただきました。

皆様が撮影した桜の水辺写真を通じ、日本の水辺の魅力を再認識し、更なる河川再生に向けた取組みの後押しとなれば幸いです。

来年(2016年)も本企画を予定しておりますので、皆様から多数のご応募をお待ちしております。



過去の作品も是非ご覧ください

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/category/cherryphotos>

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

「日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)」は、良好な河川の保全・再生が創り出す健全な水循環系及び歴史・文化と共存する地域社会の実現に向け、河川再生について共に考え次の行動へと後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動しています。また、「アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN)」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時に海外の素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担います。

○応募作品のお取扱いについて：

今後、ご応募頂きました写真を、JRRNが発行する「手引き」等の冊子やJRRNウェブサイト等で使用する場合は、使用目的や掲載媒体について予め応募者にご連絡をさせて頂き、撮影者了承の上で使用させて頂きます。

桜のある水辺風景 2015 応募写真集

発行日 2015年6月

発行 日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)

事務局 (連絡先) 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号
新川中央ビル7階 公益財団法人リバーフロント研究所内
Tel: 03-6228-3862 Fax: 03-3523-0640
E-mail: info@a-rr.net, URL: <http://www.a-rr.net/jp/>
Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

JRRN事務局は、「アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

公益財団法人
リバーフロント研究所

建設技術研究所
国土文化研究所



日本河川・流域再生ネットワーク